



# じとせんひろば

No.111 2023年(令和5年)7月1日

地御前地区自治会

## トピックス

### おもてなしホステル宮島 屋上からのLIVE映像

おもてなしホステル宮島の屋上Liveカメラは引き続き稼働しています。地御前地区自治会ホームページからも見ることが出来ますが、リンクが切れていた場合は、YouTubeで「おもてなしホステル宮島屋上」と検索して直接アクセスしてください。8月3日は管絃祭の様子をライブでより多くの皆さんにご覧いただけたら幸いです。

### 自主防災会主催 情報伝達訓練

令和5年6月4日(日)

地御前地区自主防災会では、いざという時に機能するように年に一度、一斉清掃の日に町内会組織による情報伝達訓練を行っている。情報伝達内容は、「地御前市民センター」に避難所が開設された」という旨を区長から町内会長に連絡を行い、町内会長からは一斉清掃参加者人数を報告してもらおうというもの。この報告で地御前29町内会全体(2町内会を除く)の清掃参加者数は1934人(子どもを含む)だった。

### 5年ぶりの盆踊り 8月15日開催予定

2018年に行われて以来、台風やコロナ禍で中止を余儀なくされてきた地御前地区の盆踊りだったが、ようやく今年開催できそうだ。毎月第三金曜日夜7時〜地御前市民センターで行われている民謡伝承講座(誰でも大歓迎)では、練習を継続して行ってきた。太鼓、笛、三味線の伴奏に合わせて「春徳丸」「宮島八景」を唄う。

今年、盆踊りを記録として映像に残すことになった。演奏や踊りの様子、踊り方、昔の写真などを交えて地御前の盆踊りを紹介・記録する。盆踊り当日の映像も加える予定なので、是非今年の盆踊りには大勢に参加してもらいたい。

### ちよっと ひといきカフェ 開店

主催・宮内地御前民児協

### ちよっと ひといきカフェ

みなさんの憩いの場所  
お好きな時間にお茶しませんか  
コーヒーと自家焙煎のパンキッズをご用意しています  
開催 毎月第4(木)10:00~16:00 出入り自由 予約不要  
参加費 当日100円(中学生以下無料)  
・地御前市民センター  
・どなたでもどうぞ



チーム対抗のネットボール。ボールを倒す。ネットはバラバラに広がってゆく。

(完成後は一部をインターネットで公開予定) 更には今年、地御前小学校から郷土文化保存会に盆踊りの指導依頼があった。地域の伝統行事を継続してゆこうという意思が静かに広がっている。大勢が集まるだけでも味わえる経験や楽しみがある。地域で行う盆踊りで、今年こそ久しぶりにそんな楽しみを味わいたい。

どなたでも参加自由の憩いの場として「ちよっとひといきカフェ」が開店しました。今年の夏も暑くなりそう。地御前市民センターを涼しくして待っています。来ておられる方々は、いざばた会議やら、小学生は宿題やら、いろいろ活用しています。あなたもちょっと覗いてみませんか? お問い合わせは民生委員・吉本景子(0821369115)まで。

### 保健体育事業部、地域担当員との 合同部会とモルック交流体験

スポーツ推進委員にご指導頂き、保健体育担当員と一緒「モルック」を体験しました。モルック(棒)を投げて倒れたスキットル(数が書いてある棒)の内容によって得点を加算していきます。先に50点、ピッタリになった方が勝ち。オーバーしたら25点から再スタートというシンプルなゲーム。技やチームの作戦で盛り上がり、点数の計算など頭の体操にもなつて、老若男女が楽しみ、親睦を深めました。その後、合同部会を行い、今年度の保健体育事業部の事業説明の後「地区運動会」について話し合いました。コロナ禍での中止の可能性、高齢化や児童減少による子ども会解散などで人集めが大変など、様々な課題を共有しました。そんな中「地区運動会」もあくまで、地域で災害時に「あの人の顔が見えんよ」と心配し合える絆や環境づくりの手段なので、地区運動会だけで評価せず、保健体育担当員のやりがいを見つけ、楽しんで欲しい、自治会に限らず地域の活動に積極的に参加して楽しんで欲しい、など意見交換をさせて頂きました。

「地区運動会」は内容をまだまだ検討中ですが、11月に予定しています。 中田和子

### 明るく・元気で・ 生きがいのある地御前

4月16日(日)、地御前小学校体育館で地御前地区自治会・地御前地区自主防災会・地御前郷土文化保存会の総会が開かれた。



地御前地区の29町内会会長の出席のもと、活動報告・決算報告が行われた。

### 「できるとき」「できること」を 助け合いの心と郷土愛を基に 「みんなが参加できる」 活動を目指す。

令和4年度の活動が報告された。主なものとしては、5月/ハツラツ地御前交流ウォーキング、6月/御陵衣祭、7月/夏休みラジオリレー、8月/安全パトロール、プレイパーク、11月/秋のふれあいハイキング、避難訓練、ウォークラリー、1月/とんど祭り、2月/ベタンク大会、じとせん花壇維持管理活動、一斉清掃・アルゼンチンアリ防除、ハッピーオレンジ活動、自治会Web運用、どんぐりクラブ、わいわいサロン、敬老事業、「地御前ものがたり」改訂など。

令和4年度はまだコロナ禍の影響があつて多くの活動が中止されたが、令和5年度は例年通り計画された活動が実施されることが期待されている。しかし3年ぶりに実施される活動もあり、どのような段取りで準備をしていたのか引継ぎが各町内会でできないため復活にむけて戸惑うことも多い。正念場とも言えるが、今年は一層の助け合いの心で、お互いのかかわり合いを拡げるチャンスと捉えて乗り越えてゆきたい。

### お礼

新学期が始まって間もなく、買ったばかりの定期券(四万円)を息子が無くしてしまいました。でも多くの優しい方々の手を渡り無事に戻ってまいりました。 私は自分が生まれ育った地御前が大好きです。自分自身も我が子も多くの目に見守られ多くの手で育てていただきました。私も地域での善行で恩返ししたいと感謝の気持ちでいっぱいです。最初に拾ってくださった方のお名前が分からずお礼が言えずじまいです。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

R/N

### 集・記 編・後

★認知症という記憶機能ばかりに気にするが、他にも思考・理解・判断などの機能がある。想像する、感動する、共感する、といった感情の刺激が重要。人との係わりで最も活性化される機能だ。バンバン刺激し、認知機能低下防止&多幸感増幅。J・K★前号の編集後記欄「違反者には罰則が課せられる事もある」を削除してお詫びします。Y・Y ★好きな書籍、映画の記事その他何でも募集します。投稿をよろしくお願ひします。 RXE15645@nifty.ne.jp

【発行】 地御前市民センター内 地御前地区自治会 広報事業部

### 自治会決算報告

令3繰越	1,620,161円
会費	517,000円
補助金	5,588,000円
他収入	643,450円
収入合計	8,368,611円
支出	6,923,363円
繰越	1,445,248円

### 令和5年度役員 地御前地区自治会人事 令和5年4月★は新改任

- ▼役員
- 吉本 恒雄(会長)
- 西田 弘展(副会長)
- 美川 忍(副会長)
- 向 佳(副会長)
- 渡邊 隆弘(監事)
- 若宮 敬(監事)
- 山広 道雄(総務部長)
- ★渡辺 裕之(書記)
- 中田 秀郎(会計)
- 宮本 育生(参与)
- ★梶原 繁之(参与・地七長)
- 事業部
- 桐林 潤(広報事業部長)
- 勝谷 祐司(文化事業部長)
- 大庭 敏博(福祉事業部長)
- ★田村 寿(保健体育事業部長)
- 向 佳(生活安全事業部長)
- 川口 栄作(青少年事業部長)
- 文野 清(環境衛生事業部長)
- 山野 雄三(町内会事業部長)
- 顧問
- 林 忠正(廿日市市議会議員)
- 北野 久美(廿日市市議会議員)
- ★戸崎志乃婦(地御前小学校長)



- ★木村 健二(野坂中学校長)
- 用品 郁(地御前保育園)
- 峠 清隆(地御前漁協組合長)
- 高木 進互(ひろしま農協地御前支店長)
- 尾本 正浩(地御前郵便局長)

町内会長(理事)

- ★高橋 秀彦(扇園)
- ★西尾 幸子(県営住宅)
- ★高杉 俊哉(サーバスティ)
- 今村 昭男(金剛寺東)
- ★佐川 昭文(金剛寺西)
- ★白石 弘美(砂島)
- 森本 義隆(要町)
- 勝谷 祐司(浜之町)
- 湊崎 義則(野坂)
- ★田原 義章(緑ヶ丘)
- 塚迫たか子(三景園)
- ★南 剛史(海晴丘)
- ★堤 康一朗(自由ヶ丘)
- ★竹内 直太(丸子町)
- 西田 弘展(堀之町)
- 西中 弥生(堀中町)
- ★荒木 一夫(堀新町)
- 板垣 公裕(北之町)
- 中光 篤志(中之町)
- ★山下 浩(胡町)
- 林 達雄(後町)
- ★西本 建二(南町)
- 大瀬戸 司(桃山)
- 堀本 光(鹿之子)
- 岩本 誠(田屋)
- 佐伯 稔(エスティム)
- ★山根 保博(ルミナス)
- ★緑 昭雄(港町)
- 神本 一夫(新港)

新町内会長からの一言

サーバスティ町内会長 高杉 俊哉



今年度から町内会長になりまして高杉俊哉です。私の趣味はキャンプです。数年前よりキャンプにハマリ道具を買ったり色々なキャンプ場に行くのが好きです。廿日市には、近くに良いキャンプ場がありとても気に入っています。そんな廿日市に少しでも貢献していけるよう活動してまいりますので、よろしくお願ひします。

金剛寺西町内会長 佐川 昭文



避難訓練に参加して、お年寄りの避難援助の重要性に気がきました。災害が発生した際の避難対応に前向きに取り組む、被害を最小限に留めるべく老若男女共生していきたいものです。誰一人取り残されない社会の実現に向き合せて、できる事からコツコツと座右の銘として背伸びすることなく動いて行きたいです。

胡町町内会長 山下 浩

私は地御前に生まれ、今日ま



で過ごしてきまして、いわば「原住民」の一人です。日々、農業と母の介護に明け暮れていますが、町内会長に指名され微力ではありますが、皆様方のお力になればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

ルミナス町内会長 山根 保博



地御前に住み始めてもうすぐ17年が経ちます。最近健康管理も兼ねてウォーキングで町内を歩いています。まだまだ知らない道や場所もあり、楽しみを感じています。せつかなので、町内会長の仕事を通じてより地御前を知ることができればと思っています。みなさん、よろしくお願ひします。

堀新町町内会長 荒木 一夫



広島市から地御前に移住して38年が経過、移住当初、よく潮干狩りに行きました。(最近では、全く貝が取れなくなりました。)今は、家庭菜園に勤しんでいます。少しでも地域に貢献したいと思っています。ご支援ご協力よろしくお願ひします。

郷土史「地御前ものがたり」第3版を 地御前小学校に寄贈



2023年5月16日(火)「地御前ものがたり(改訂版)」1000冊が地御前地区自治会、地御前郷土文化保存会から地御前小学校に寄贈された。贈呈式では、はじめに戸崎校長から、地御前地域の歴史や文化が、地域の人々によって脈々と引き継がれ大切に継承されていること、郷土史「地御前ものがたり」に丁寧に記載されていること等の説明があった。

次に、編集者代表 宮本育生氏から、冊子への想いととも、6年生がこれからの人生の中で少しずつ冊子の中味を確認し、理解し、継承して欲しいと挨拶があった。そして、郷土史「地御前ものがたり」1000冊(10年分)が6年生児童代表に贈呈された。6年生代表からは、お礼の言葉がしっかりと編集者・自治会関係者の皆さんへ届けられた。「地御前ものがたり」は平成27年に地御前郷土文化保存会



改訂版編集に携わった 前列右から 美川、崎村、勝谷、井出、谷口、磯邊、宮本 後列右から 山野、山広、白石教頭、戸崎校長、中田の各氏

によって編纂され、初版寄贈以来、6年生の地域学習副読本として児童に配布されている。初版発行時に寄贈された冊子が足らなくなるのを機に、内容を見直し、改訂第3版として2000冊が発行された。初版は町内会加入全世帯に配布されており、第3版は初版未配布の転入者にプレゼントされることになっている。また希望者は450円で購入することが可能。(地御前郷土文化保存会・崎村まで)残っている旧版は地御前市民センター事業(史跡めぐり、地御前の歴史講演会など)で活用されるほか、地御前地区自治会の各種事業でも希望者に無償提供して活用される。

ウォーキング地御前ウォーキング

爽やかな海の風を感じながら、元気に歩きましょう。令和5年5月13日(土)はあいにく雨だったため、予定されていた街歩きは中止されましたが、集まった約50名は松本直子先生(健康運動指導士)の講義と、実技指導を受けました。

運動だけでなく、「座り過ぎない」「赤青黄を食卓に並べる」(食生活)、「免疫が、がんの細胞を殺す」などわかりやすい講義のあと、実際に姿勢を意識して歩いたり、音楽に合わせて身体を動かすなどの実技を体験しました。老若男女を問わず、とても楽しい講座でした。

ウォーキング(実技競技)だけでなく、このような講義も、皆さんの健康維持の為、保健事業の一つとして積極的に保健体育事業部の活動に取り入れていけたらと思っています。



フリーマーケット開催

5月21日(日)10時~15時・地御前青年会館にて 当日は天候に恵まれ、フリーマーケットは大盛況でした。約250名が集まりました。おしゃれな洋服や小物、おもちゃ、野菜などバラエティに富んだ内容でした。利益よりも地域交流が目的での価格設定だった卵1パック150円、Lサイズが250円はさすがに飛ぶような売れ行きでした。

憩いのカフェコーナーやキッズコーナー(射的・的当て・くじ引き)も好評で、地域の交流の場として、とても有意義なひと時になりました。参加した子どもたちはみんな「楽しかった!」と言っていた。他の地域にお住いの方からも「地御前ってすごいね!」などの声がかかれた。

主催・青少年事業部 共催・生活安全事業部

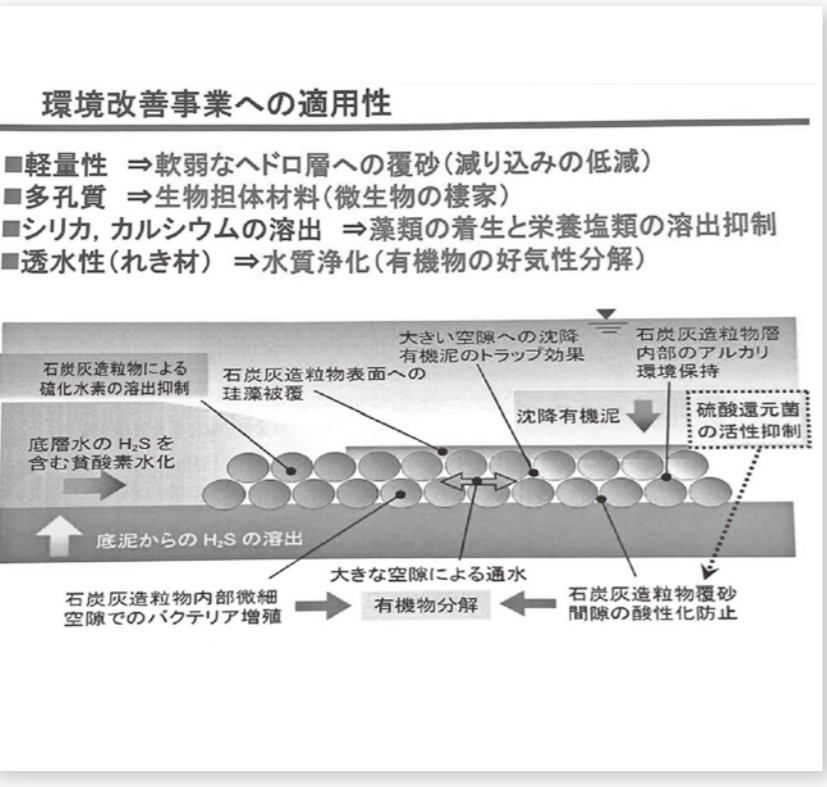


潮廻し環境改善の取り組み

地御前交番脇の潮廻しは、豪雨時の扇ポンプ場との一体的運用による地域の浸水防除の機能を担っている。昭和52年に扇ポンプ場が整備(最初のポンプ1基され、瀬戸川(背戸川)河口にフラップが整備されるまでは、樋門から海水も混入し、昭和40年頃はボラ釣り大会などもおこなわれていた。



その後は雨水を滞留させる機能の為に、土砂がたまって汚泥になり、悪臭を放つなどの問題に周辺住民は悩まされるようになった。地区の公衆衛生推進員などによるEM菌散布や、国道近くの箇所の流れを確保するために部分的な浚渫(しゅんせつ)をおこなっていた。建設部下水道建設課で検討の末、Hiビーズ(中国電力株式会社 電源事業本部 石炭灰有効活用グループ)を試験的採用決定した。



Hiビーズは石炭灰を3mm(40mm)の粒にしたもので、多孔性・高強度・高透水性の地盤材料として高い性能を有している。

潮廻しの雨水容量確保の問題、工事費用の問題、工事重機の搬出入経路や設置の制約などの課題があり、国道二号線に近い水門周りにHiビーズを施工した状況である。

施工された箇所の環境改善は筆者の目からも明らかである。

が、潮廻し全体への施工は前述の問題からも難しく、今後の対応は検討を要すること。Hiビーズを施工した範囲は、表面的には地盤がしっかりしているように見えるが、下層は軟弱で危険なので、絶対に柵を超えて入らないようにのこと。

潮廻しの周囲は桜並木があり、地区の清掃活動がおこなわれていて、憩いの場としても利用されている。